

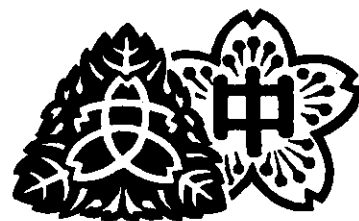
# 東京桑野会会報

●昭和62年4月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒101 東京都千代田区神田錦町2-5 KSビル3F



開成山公園 昭和3年

8



- ① 桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の親睦の会であること
- ② 会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③ 何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

## 昭和62年度総会を迎えるに当って ご挨拶

東京桑野会会長 澤田 悌



早いもので本年は母校創立103周年を迎えることになりました。あの100周年を祝って東京桑野会が盛大な記念会を開催し、それを機に会の気分が俄然盛り上がり、年々総会出席者も増加しておりますことは誠に同慶の至りに存じます。

昨年は会の一層の充実発展を図るため各卒業年次毎に幹事を定めて、それぞれ横の連絡を密にし若い年次の同窓生も入会し易いようはからいしましたが、今年は一層その効果を拡げたいと考えます。

さて、来る4月17日(金)には、昭和62年度の東京

桑野会総会が開催されます。多数の会員が一堂に会して飲食を共にし、互いに久闊を叙し思い出を語り合う最大の機会です。

毎号の会報にも掲げてありますように、東京桑野会は、“桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の東京における親睦の会”でありますから、総会には多数の皆さんがお元気にご参加下さいますことを心からお待ちいたしております。

みなさんの一層のご健勝をお祈りして会報第8号の巻頭のご挨拶といたします。

下記により恒例の東京桑野会定期総会を開催致します。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

- 期日 昭和62年4月17日(金)
- 時間 午後5時—受付開始  
午後6時—総会  
午後6時30—懇親会
- 議題 1. 昭和61年度決算承認の件  
2. 昭和62年度予算承認の件  
3. 役員改選の件  
4. その他
- 場所 目白椿山荘  
文京区関口2-10-8(Tel 03-943-1111)  
国電目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅 下車
- 会費 懇親会費 7,000円 (学生3,000円)  
62年度会費 2,000円  
(当日欠席される方は別紙振込用紙にて  
年度会費 2,000円をお振込下さい)

・尚、準備の都合もありますので、出欠のご返事を同封の葉書で折り返し3月末日までにご返送下さいますようお願い申し上げます。

また、連絡もれもあるかと思われますので、恩師縁故者もお誘い合わせの上、多数のご出席をお願い申し上げます。

・東京桑野会の名簿は、残部があります。ご希望の方は一部500円でお頒けします。

・万一ご欠席の方は、年会費2,000円を同封の振込用紙にて、お振込願います。会の運営のために必要ですので宜しくお願いします。

・前回61年度は、昨年4月14日に開催され、200名を越える参加者がありました。今回は、各期幹事もきまり、各期の充実により多数の参加を期待します。

「放送委員会全国4位の快挙」

安積高校新聞、昭和61年121号122号より

★ 人事異動=去る3月に行われた人事異動により、3年間在任された村上啓正校長が、勇退され、後任として松田友吉先生が、福島西女子高校から着任された。また、全体として退職3名、転出11名、転入14名の異動があった。

★ 放送委員会=昭和61年7月25日に行われたNHK放送コンテストで、見事全国4位入賞を果たした。この大会では昨年も賞を受賞しており、2年連続の快挙を成し遂げた。

★ 将棋部=昭和61年7月22日、第22回全国高校将棋選手権大会の福島県大会が行われ、見事団体戦で優勝し全国大会に駒を進めたが、残念ながら2回戦で敗退した。

★ バasketボール部=高体連県大会において7年ぶり5回目の優勝を果たし東北大会、全国大会へ出場した。東北大会では、能代高校に惜敗し、全国大会では2回戦で強豪大濠高校に敗れた。

★ 高校野球夏の甲子園大会県予選結果  
1回戦 安積8-1 磐城二高


(8回コールド)

2回戦 安積11-1 相農飯館

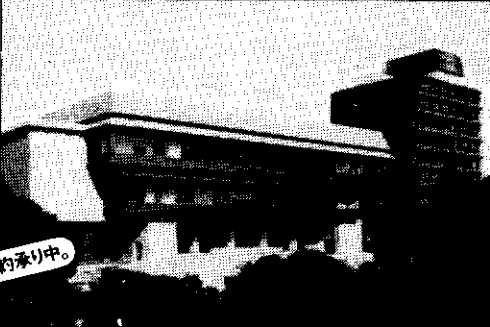
(7回コールド)

3回戦 安積2-5 福島(延長10回)

CHINZAN SO  
**椿山荘**  
東京都文京区関口2-10-8  
☎03(943)1111  
◎藤田観光



最新機能の音響・照明設備。  
チャペルでの挙式もできます。  
庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。



只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。

華やかな「宴」のとき。

## 忘れえぬ教訓

42期 高田 秀二

大学を出てからもう半世紀が過ぎてしまった。上海の中国通信社に入社、一年めの夏休みで日本に帰って来たら、日中戦争が勃発して上海へ帰れなくなった。上海時代にお世話になった松本重治さんの伝手で同盟通信に入れてもらった。もっとも同盟の入社試験の英語の成績が一番だった。それもそのはず英語の問題が小生が上海で一年間毎日ほん訳していた“ノース・チャイナ・デイリー・ニュース”紙から出たのだ。カルガンを張河口と訳したのは小生だけだったのも当然。

\* \* \*

まず警察廻りを一年やって社会部の遊軍になった。社会部長はいまは故人の元東京タイムス会長の岡村二一さん。隣のデスクの政治部長は衆議院議長の福田一さん。

ある日、社会部のデスクにいと有名な仏教研究家の訃報が入った。早速自宅へ電話を入れて死亡記事の作成にかかった。当時電話で死亡記事を完全に取材できれば、まずトロッコとしては一人前といわれていた。

何とか死亡記事を書いて岡村部長のところに持っていった。さっと目を通して岡村さんは言った。

『青山斎場は分かったが、葬儀は何式でやるんだ…』

変なことを聞く部長だと思った。死んだのは仏教界の有名人じゃないか。

『仏式でしょう』と、小生は答えた。

とたんに岡村さんの声が厳しくなった。

『でしょう、とは何だ。もう一度電話をかけて確かめろ！』

小生は不満だったが、泣く子も黙る部長の命令である。小生は再び葬儀準備でごった返している家に電話し、お手伝いさんらしい女の声で『仏式に決まっていますよ！』と怒鳴られた。

『部長、仏式でやるそうです』

私の答えを『そうか』とアッサリ答えて、岡村さんは私の原稿を整理部へ送った。

\* \* \*

小生は面白くなかった。決まっていることで、何か子供扱いされているようで不満で堪らなかった。

ふくれっ面をしている小生に、やがて岡村さんが、声をかけた。

『高田、おまえ面白くなさそうだな。だが新聞記事というものはな、でしょうとか、だろうとかで書いてはいけないんだ。オレだって仏式とは思ったさ。でもな、確かめることは絶対必要なだぞ。遺族にヤソでもいてキリスト教でもやらせてみる。トップ記事になるんだぞ。…』

小生はただ頭が下がるばかりだった。以来記事を書くとき、いつもこの岡村さんの教訓を思い出す。何とか記者として一人前にやって来れたのもそのためかと思う。

最近、マスコミ界に無責任な記事が横行しているような気がする。想像ででっち上げたような記事、感情的記事が多いように思えてならない。年寄りのひがみでなければよいのだが…

(共同通信社 社友会会長)

## 安積の恩師の思い出とそのアダ名考

52期 吉田 弘俊

第7号に続いて、名物先生の思い出とアダ名の由来について、述べてみたい。

<武知晴三郎先生> (ヤッペさん・博物、図画、音楽) は、頭髪が薄くてお人柄も布袋様のように福々しい方だが、アダ名はその風貌がそっくりのヤッペイ (弥平か) という有名な乞食がいたことに由来するらしい。また校歌斉唱の際には必ず先生が指揮されたが、悪戯盛りの悪童共は「若草萌る安積のヤッペ」と歌い出して先生を困らせた。しかし、心優しい先生は「出来の悪い我が子ほど可愛い」といった風情でおられたのが印象に深い。

なお、昭和45年私が日銀徳島所長の時、徳島には武知姓が多いので、電話帳をめくったら先生の名前を発見した。早速先生とホテルで会食となり、先生は生徒の名簿を宝物のように大切に持参され、教え子の思い出話で夜も更けるのも忘れるほどに喜んで下さった。その後「あんな美味しい料理は食べたことがなかった」といってお礼に名所の「土柱」のスケッチを送って下さったのは、唯々恐縮するばかりであった。

\* \* \*

<佐藤勝一先生> (カイゼル・国漢) は、いかにも軍人らしく、いや寧ろ将軍・皇帝の如く威厳と風格が備わっておられた。それもその筈で、明治45年陸士卒の将校で、任官後14年目の大尉で軍備縮小のためクビになり、1年後



●掛け金が貯蓄にもなる  
**積立保険** 長期総合保険

●安心と貯蓄の5年プラン  
**積立ファミリー交通傷害保険**

●6つの保険を1つにセット  
**自家用自動車総合保険**

●住いと暮らしの  
**安心パック**  
住宅総合保険+家族傷害保険

まさかのために  
**興亜火災**

取締役会長 赤城海助 (第43期)

本社 〒100 東京都千代田区霞が関3-7-3  
☎(03)593-3111(大代表)

安中の教諭に転職された方である。その八の字の髭は写真で見ると本物のカイゼル皇帝よりも立派だが、決して武辺一辺倒ではなく、高い教養の持ち主で、昭和14年正月の宮中歌会始に先生の和歌(題は朝陽映島)が選ばれている。それは、「御戦の勝鬪争ぐる唐国の島の岩に朝日照り映ゆ」と格調が高く、中国大陆の戦陣から詠進したこともあって、各新聞に大きく取り上げられたのを覚えている。

ところで、私も敗戦で失業した職業軍人の一人なので、戦後二度目の失業(追放)の憂き目を見た先生の苦衷は身に滲みてよくわかるような気がする。そればかりでなく、先生ご自慢の長男一郎君(昭和13年、32倍の競争率を突破して海軍兵学校に入校。安中、海兵とも一期先輩)が、昭和19年5月1日、呂号第45潜水艦の航海長としてトラック島沖で米空母を攻撃中に名誉の戦死を遂げられたことは、深い心の痛手となった。そしてあの気丈夫な先生が晩年には、一郎君を思い出すと人目もはばからず号泣されたと、後輩の主治医から聞かされた。

\* \* \*  
 <渋谷好先生>(トウちゃん・国語)は、いつも仙人のように飄々として歩き、猫のように足音を全くたてずに教室に入って来られるので、授業前に何時もガヤガヤ騒いでいた我々悪童連には苦手であった。しかし、「こら吉田、次を読んでミー。」という独特のイントネーションで名指しされる時は、実の父親に接するような暖かみを感じた。

ところが、本当の自分の息子が教室にいるとなると、教師としては一寸具

合が悪いこともあるらしく、どうしても名指しはし難いようであった。果たして、「ハイ、ハイ！」と手を上げて答えようとしても、息子さん(浩君・49期)がいつまでたっても指名して貰えないので、「父ちゃん、トウチャン。俺を指して！」と絶叫したという。どうもうますぎる話だが、アダ名の伝説というのは、このようなものが多い。

\* \* \*  
 <松田祐吉先生>(ペチヨさん・日本地理、世界地理、東洋史、西洋史)は、「世界中の地名・歴史的人物の名称は全部知っている。」というほど博覧強記の勉強家で、真面目ながらユーモラスな講義は楽しみでもあった。先生は「棒暗記は馬鹿のすることだ。脳細胞は連想と相乗して始めて活性化する。例えばロシアのペチヨラリ川を覚えるときは、川波がペチヨ、ペチヨとさざなみの音を立てて流れていると知れ。チミタチその要領を忘れんな。」などと説明する独特の山形弁は、今でも懐かしい。またあるときは、独りでニヤツと笑って「インドのデカン高原は、亜熱帯ながら密林ではなく、チョロチョロと草が生えている高原で、博物の先生(デカンの尊称をもつ鈴木忠康)を思い出せばよい。」とスマしているので、可笑しさに堪えるのに困った。

なお、戦時中(昭和19年5月)、軍部の教育干渉に命懸けで批判した気骨ある我が恩師・松田先生と斎藤橋先生(ホラキョウ・歴史)の両先生は、講義の中に軍部誹謗の言動ありという舌禍事件の廉(かど)で、羽曾部校長と共に免職放校の処分を受けた。また不詳ながら、松田先生は故郷の鶴岡で終

戦後に「教え子に軍国主義の教育を阻止できなかったのは教育者として自責の念に堪えず」として不遇の生活の中に自害されたと聞く。

(以下つづく)  
 (五十嵐冷蔵 専務取締役)

## 欠史八王小考

52期 車 元

欠史八王は、日本上古史の暗黒部分である。この為に、神代期及び崇神王朝に至るまでが否定される傾向にある。しかし、次の事実により、欠史は単なる欠史時代でない事が明確になる。

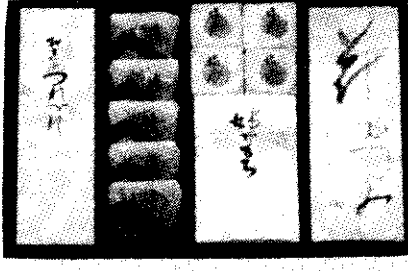
### 1. 欠史八王表記(日本書紀)「表」

和風諡号	天皇名	都所在地	即位太歳
カムヌカワミ	綏靖	葛城の高岡宮	庚辰
シキツヒコタマミ	安寧	片塩の浮穴宮	癸丑
大日本ヒコスキトモ	懿徳	軽の境岡宮	辛卯
ミマツヒコカエシネ	孝昭	葛城の撤上宮	丙寅
日本タラシヒコ国オシヒト	孝安	葛城の秋津島宮	己丑
大日本ネコヒコフトニ	孝靈	黒田の蘆戸宮	辛未
大日本ネコヒコ国クル	孝元	軽の堺原宮	丁亥
稚日本ネコヒコ大ヒビ	開化	春日の伊弉河宮	甲申

### 2. 古語解釈(日韓古語対比)

意豊・イフ=大である。イ、フ、単独にも使われる。狗、馬、牛、豚(猪)・ク、マ、ソ、テ=蒙古系の四大家で尊称を表す。カ、マ、サ、タの四行で行のうち、どれにも変化する。マ行の御、ミ。タ行の手、見の如しである。高句

和菓子司  
**銀座 三万石**  
 銀座店/東京都中央区銀座六丁目四番八号  
 TEL 〇三・五七五 〇〇七 千一〇四



銘菓撰詰合せ  
 花かつみ・本塩まん・四角餅がら・箱  
 奥州まんじゅう五個 和菓子十つ づれ 本

おいしさ多彩に  
 和菓子司銀座三万石の  
 銘菓撰詰合せ。

**銘菓撰**

麗の快雄泉蓋蘇文Tyon Ke So Mun。  
倭迹迹日百曾姫は何れも四大家を全句  
使用し最大級の尊称を使っている。T  
ート。Kーヒーチ。Mーモ。Sーソ。  
と豚、狗、馬、牛に比照される。犬馬  
牛豚の接頭語であるイ、ウ、ブは大で  
あり、犬の「ヌ」は「カ」と同意語で  
あるから、変音したと思われる。(国＝  
ク、ニ)。

シキ＝Swe葦。キ＝城。ツ＝津(シキ  
ツ＝加羅)。ヒフ＝赫居。Hyok Kou  
＝王。タ、マ、テ、ミ＝四大家の尊称。  
ミマツ＝ミマナ＝ニマナ(任那)。カエ  
シ(加倭人)。タラシ＝Turi＝入る。オ  
シ＝大人。ネコ＝Nim Kum＝居師令  
(王)。クル＝狂＝混。ヒビ＝鱧Houm

### 3. 都邑の解釈

軽、黒田は加羅であり田一タは大で  
あり、葛城も同じく加羅であるが音で  
区別している。春日は狗牛家で弁辰国  
を意味しており、片塩は狗豚牛で大々  
加倭と言える。(弁＝Kats＝狗)

### 4. 和風諡号の解釈

大日本、日本、稚日本の三種は、大  
の無い日本と稚＝別日本で、別系の倭、  
即ち狗奴系と大日本即ち伊西系とを区  
別している。

## 5. 結論

2, 3, 4 項を参酌して次の結論が出  
る。

シキツ、アキツ、ミマツ、ニアナ等  
加羅の呼称には種々の表現がある。

神沼河耳命は八王の尊称のうち甚し  
く異質的である。この帝は神武帝を七  
王の上に置く為の繋ぎである。残り七  
王の即位千支年を西暦年に直すと安寧

(AD 53) 年懿徳(91年) 孝昭(66年)  
孝安(206年) 孝霊(131年) 孝元(147  
年) 開化(264年) となる。七王には各  
々ヒコ＝王の称号が付き、孝霊、孝元、  
開化に「ネコ」＝王が重複している。安  
寧、懿徳の二帝は、タマデミ、スキト  
モという尊称が付いている。然し神沼  
河耳に王称は無く、ミミ尊称だけであ  
る。日本タラシヒコ国押人と稚日本ネ  
コヒコ大ヒビはタラシとヒビの別系と  
鱧という穏当でない表現が用いられて  
いる。

次に天皇名で安寧は渡海を拒絶した  
天忍穂耳命に当たり、安寧を求めた帝  
を意味している。孝昭とは天ニギシ、  
国ニギシであり、孝安とは狗奴及び邪  
馬台伊西との和親を謀ったのであろう  
か。開化に至っては新しく開き変えた  
意味を含んでいる。以上を総括して次  
の「表」となる。

諡号	天皇名	西暦年代	備考
磯城津彦玉生看	安寧	AD53年即位	在任即、大加御
親松彦麻羅	孝昭	66年	在筑紫邪馬台国
大日本彦祖友	懿徳	91年	”
大日本根子彦太	孝霊	131年	”
大日本根子彦国率	孝元	147年	”
日本足彦国押人	孝安	209年	在筑紫狗奴国
稚日本根子彦大日	開化	264年	”

三国遺史によると建武十八年伐伊西  
国滅亡。とありAD 42年に当たる。当  
年に伽倻建国とあり大加倭王は伊珍阿  
鼓(イザアコ)と言われた。

又「魏志倭人伝」には「其国本亦以  
男子為王住七八十年、倭国乱、相攻伐  
暦年乃共立一女子為主、名曰卑彌呼」  
とある。ヒミコとは孝渡帝の姫倭迹迹  
日百襲姫に当たり、ヒコ国クル王の異  
母妹である。三国史記に173年卑彌呼  
遣使来聘。から倭人伝248年ヒミコ以  
死。大作家「径百余歩」となり、この  
間の年代は大体に合致している。

(大元医院 院長)

### 営業品目

- 産業廃棄物の処理
- 一般廃棄物の処理
- 産業廃棄物の加工

## 市原不燃物処理株式会社

〒290 千葉県市原市五井 2887 TEL 0436-21-6308

代表取締役 鎌田正二 (第43期)

## 騒音・振動・超低周波

〈計量証明事業登録第507号〉

- 現況調査 ○ 予測計算 ○ 防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学  
電子・機械 繊維 機械 紙パ  
自動車 造船 食品



東昌エンジニアリング株式会社

〒108 東京都港区港南2-12-26 港南パークビル

電話 03-471-5891 代表

代表取締役 鈴木健生 (第48期)

## 古稀を迎えて

47期 横尾 正七郎

白線のついた帽子にあこがれ、晴れて入学を許されたのは昭和5年の春だった。安積中学47期生の一員としてのスタートである。

部活では弓道部に所属し2年生の時から選手に抜擢され思い出は関東北中等学校弓道大会に個人優勝の栄に浴したことである。4年生の時、部活を中断して専ら勉強に打込むつもりだったが、体操の吉田先生が当時機械体操に頭角を現していた私に目をつけ、体操部に懇望される破目になった。従って卒業アルバムは体操部のキャプテンと云うことになっている。

健康状態は頗る頑健で、若さにまかせてテニス、野球等運動は手当たり次第に何でもやった。

古稀を迎えて猶健康なのは、此頃の鍛練にあったのではないかと考えている。

郡山の家の近くに土木監督所があった。所長さんは当時ハイカラなハーレーダビットソンのサイドカーに乗って現場視察をやっているのをよく見かけた。カッコいいなあ、と思ったものだ。そんな事が動機になったかも知れない、日大の工科で土木を専攻する道を選んだ。資力の乏しい親の脛を齧ることが出来ず、所謂苦学であったが、今で云うアルバイトもそれ程苦痛とは思わなかった。それと云うのも健康と精神力が中学時代に自然に養われた結果ではなからうか。

ある時は、新聞広告で、簡易保険の宛名をガリ版書きする請負募集に応募し、見事詐欺にかかったのである。東京は生馬の目も抜くと油断してはならない所とは聞いてはいたが、身に滲みて思い知らされた事件であった。

現在の東京索道に入社したのは昭和16年である。当時支那事変は愈々拡大の一途を辿り、占領外地の資源を活用して軍需生産の活況を計らねばならない。それ等の資源を搬出するのが貨物索道であった。又軍需工場を動かすのに多くの電力が必要である。これを賄う水力発電所の貯水ダム建設には資材輸送に索道は是非必要だったのである。

入社試験当日、控室で考えた。民間会社は実力の会社である。然らば、入社した以上は一つの会社を牛耳る存在まで申し上がってやろう。

そんな健氣な決意をしたのであるが、この決意は、それから45年の索道技術者としての毎日を鞭打って来た様になる。

思えば苛酷なまで目まぐるしい世代を今日まで、超えしは超えて来つるもかな、感無量である。

索道事業は前述の戦時生産の資材輸送に重要な役割を果たして来たのであるが、終戦後の復興期には、各電力会社の発電ダム構築、農林省の土地改良事業に灌漑用水の確保を目的とした貯水ダムの構築、又建設省の都市計画による洪水防災と飲料水の供給ダム、これ等を総合した多目的ダムの建設により貨物索道は勿論、東京索道の特許ケールクレーンがダム本体のコンクリート打設に脚光を浴びる様になった

のである。

勿論これ等の仕事を遂行するに当たっては、現地路線の調査測量、設計、機械の制作、現場工事等々、話しても理解しては貰えない苦勞が伴ったものであるが、こうして日本復興と興隆に役立っているのだと思うことによって大いに生き甲斐を感じたものである。

社会は平和のうちに、戦争の痛みを次第に忘れ、少しづつ豊かになって、生きる辛さから解放されると、余暇を楽しむ余裕が生じて来た。レジャーブームの出現である。貨物索道時代の流れと共に其の主たる使命を終わり、パッセンジャー向けに衣替えされて行った。

即ち観光地のロープウェーであり、又スキー場のリフトである。往時のスキーとは、滑降だけでなく山を登るのもスキーだと云われていたが、今どきのスキーを楽しむ人達にそんなことを云っても通じない。リフトのない所はスキー場ではないのである。

この様な需要に応えるべく、設計製作に建設にと憂き身をやつしている昨今であるが、これも宿命か、時の流れに身をまかせ、スキー場の華やかなファッションで、さざめき楽しむ男女の裏方として生きるのも一つの生き方なのかも知れない。

毎年春には学卒新入社員が入って来る。此の若人達は会社にとって大事な戦力となる筈である。又そうやって貰わねばならない。社会は新陳代謝を繰返す、会社も同じである。若い人が育って会社を背負って行って貰わねばならない。

私は社員のミスは余り咎めない様に

### 索道施設の総合設計施工管理

豊富な経験、最新の技術、万全のアフターサービス



## 東京索道株式会社

本社・工場/横浜市金沢区鳥浜町12-9

〒236 ☎045 (774) 7111 (代)

札幌営業所 〒062 ☎011 (812) 0467

代表取締役会長 横尾正七郎 (第47期)

代表取締役社長 横尾 稔 (第66期)

- ゴンドラ
- スキーリフト
- ロープウェイ
- ケーブルグレン

努めている。何故なら仕事をしたからミスが出たのである。仕事をしない者にはミスは起こらない。

君は金で買えない尊い経験をしたではないか、二度と繰返してはならない。この経験を踏台に更に前進の努力をなさい。彼の顔は急に明るくなり又やる気が出て来る。身に滲みた失敗は次の成功が期待出来るのである。何もしない者が他人の仕事にケチをつけるのはもつての他、人を批判するには、それなりの実力と権威がなければならぬ。とは云うものの、ともすれば怒鳴りつけたくなるのも人情である。私は自分の部屋に

「無道人之短 無説己之長」  
と墨書きして己を戒めている。

何時迄も元気で、気分だけでも若い者には負けないでいたい、とは思ふものの、そうは行かないのが宿命であるなら、願はくは次代を背負う若い人々、特に母校安積を巣立った若い人々に後事を托したい。常に質実剛健の気を以て切磋琢磨。世の為人の為に人事を尽されん事を心から願う次第である。

(東京索道 代表取締役会長)

## 忘れ難い事ども

48期 國分 欣一

本会報7号を開いたら撞井保男さん(51期)の“今は亡き友人たち”が目についた。大体上級生はよく知っているても下級生は余程目立つものでないと知らないのが普通だが、あの中で忠孝君は兄弟揃っての秀才だったから知っていた。角田良平君は柔道部の黄金時

代を築いた中心だったが、私の在学中は未だ幼かったから知らなかった。当時の柔道部のメンバーの中で佐藤清美君は農業技術の同業者だからときどき会っては当時の話をする。

あの当時のメンバーの中でもう一人内藤隆昌君が抜けて居たので筆をとる気になった次第である。

私が昭和12年に宇都宮高農に入ったとき、一緒に入ったのが柔道部の伊藤敏夫君(ブーゲンビル島で戦死、野戦重砲)で、試合のときは学寮の彼の部屋が選手控室になった。その年は優勝した大田原中学に負けた。試合が終り汽車に乗るまでの間、二荒山神社の石段の下にあった支那料理屋、と云ってもラーメンきりなかったが、カナメという店に入り、二階に立派な座敷があって上り込んだ。そのうちに優勝旗をもった大田原中学の選手達が石段を昇って行くのが見えた。先生は“どうだ、あの角田に抑え込まれたのが得意になって優勝旗を持って行くじゃないか”と冷かしてニヤニヤして居たが、胸中はさぞ残念だったのだと思う。

翌13年の優勝チームの中に内藤君が居た。親戚で、私の親父が彼の保証人をしていたこともあって、試合の前の晩先生の許可を得て喫茶店に行った。彼はそのとき、明日は何としても優勝旗を持って帰るんだと意気軒昂だった。翌日の試合は順調に勝ち進んだ。昼休みに正門の前の八百屋にバナナを買いに行った。選手の誰かが“先生、バナナ食べてもいいですか”と聞いたら、先生は“バナナは精がつくから食え”と答えた。柄にもなく、当意即妙、選手を力づけたもんだ。決勝戦の相手は

地元の宇都宮中学だった。先鋒の相原君が一本とられて、二番手が内藤君だった。彼が寝技に引込もうとしたとき、下になった敵は右手一本で襟をとり、首をメにかかった。それがきれいに入り、だんだん締まってくる。必死になって首を竦めてこらえる彼、そこで参つたらもう勝ち目はない。そのうち真赤な顔になり、審判が落ちさせぬかと右からのぞいたり左からのぞいたり心配そうにしていた。随分長い時間がたったような気がしたから2分位は我慢したのではないだろうか。そのうちに疲れて来たと見えて一寸ゆるんだ隙に抑え込んで一本とった。これで1対1、当日中堅だった角田君は簡単に相手を投げとばして1本とったが、副将の沢田君は相手を振り回しても腰を引いて粘る相手にてこずり遂に引分けられてしまった。当日の大將の佐藤君はここを先途と頑張り抜き引分けて2対1で勝った。帰りに例のカナメに行き二階を開け放って廊下に優勝旗を飾って一息入れた。ガニさんは口には出さなかったが満足そうに見えた。それまで再三惜しいところで優勝を逸し報われることの少なかったガニさんの生涯の最良の日ではなかったろうか。これで意気大いに上り、各地に転戦して優勝を重ねるきっかけになったのではないかと思われる。この日は私にとっても忘れられない一日になった。その年落第して意気消沈していた私にとって力づけられたことは云うまでもなく、後輩があれだけやったのなら、俺だっと思って。頑張り屋の内藤君もビルマの土になり遂に帰らぬ人となった。戦死の公報が入り私が復員して間もない

## ◎ 日立電線株式会社

＜活躍中の桑野会メンバー＞

新聞 豊 (54) 根本重則 (89)  
山崎清博 (81) 本郷晃夫 (90)  
渡部陽一 (88) 大橋晴志郎 (77)  
佐藤二郎 (90) 八代誠司 (88)  
古寺 裕 (65) 大越一郎 (89)  
内藤清吾 (85)

電線・ケーブル・伸銅品・工業用ゴム製品

(光ファイバーシステム・電子機器用電線・電子材料)

日立電線特約店

# 日松商事株式会社

〒113 文京区本郷2丁目18番1号

電話 03 (814) 8 1 1 1 (代)

代表取締役社長 星 武夫 (第49期)

昭和21年秋、須賀川の菩提寺十念寺で葬式があったので父に代って参列した。私は同じ大陸でも中南支でビルマに行かなかったので負傷はしても生残り彼は死んだ。あの真赤な顔を思い出して感無量だった。戦時は悪夢のように過ぎ去ったが彼等偉丈夫が海に陸に散ったのは惜しい限りで、若し健在であったなら、たとえ戦は敗れても世相は今とは大分違ったのではないかと思われるて仕方がない。

(汐安肥料協会)

## 福島県郡山でくつろぐ “新しい音の建築家”クセナキス

74期 船山 隆

作曲家のヤニス・クセナキスに初めて会ったのは、1969年の暮であった。パリのピガールに近いアパートマンの仕事部屋は、音楽家の部屋というよりも、画家かデザイナーのアトリエという感じで、グラフや設計図が散乱していた。ブーレーズ、ベリオ、武満徹らと並んで、今日の世界の作曲界の「ビッグ・ファイブ」に数えられるこの作曲家は、ル・コルビュジェの弟子の建築

家でもある。

70年万博の鉄鋼館のための新作の下相談のためにクセナキスに会ったのだが、「ヒビキ・ハナ・マ」という日本語のタイトルを持つこの作品は、オーケストラ、琵琶、鼓などの音を素材とする電子音響作品で、12チャンネルと800個のスピーカーからは、まさに前代未聞の音の世界が出現した。

新しい音の狩人のクセナキスは、この夏、郡山で開かれた「コンピューター音楽祭」でも21世紀の音楽の可能性について論じつづけた。音楽祭終了後、クセナキスをわが母校安積高校に案内した。国の重要文化財に指定された古い校舎のバルコニーからは、ブラスバンド部員の練習するトランペットの音が流れ、私たちを歓迎してくれた。高下駄で自転車にのっての4キロの道を通ったのは、もう30年も前のことになる。

私たちは、彼の最新作「ホロス」の世界初演のコンサート(サントリーホール、10月24日)での再会を約束してわかれた。

(東京芸術大学教授)

文芸春秋61年11月号からの転載



## 上野の森は毎朝 体育の日

58期 山本 佳

<十年間、毎朝五時に起床>

10月10日は体育の日。東京オリンピック大会開会の日になんで昭和41年に制定されたこの祝日も、今年で満20年。全国各地では運動会や「歩け歩け運動」など各種の催しが行われる。

ところで東京・上野の森はまさに毎朝が体育の日。私はこの十年間、毎朝5時に起き、自転車で上野の山に出かけ、ジョギング、太極拳、そしてラジオ体操と運動することを日課としてきたが、同じように上野の山で心身のトレーニングに励む人達が千人以上もいる。朝寝坊の人には考えられない上野の山の朝の百態をその一人である歯科医の目で紹介したい。

東京国立博物館前の噴水のある池(約340㎡)の周りを暗いうちから背筋を伸ばし、競歩並みの速度で10何周も回っているI氏は、70歳を超えているとは思えない若さ。動物園のパンダの赤ちゃんが目覚ましそうな一オクターブ高い声で「おはよ」と挨拶される。先日は上野の桜の実でつくったチェリー酒を私たちにご馳走して下さいました。

Kさんは60歳で仕事をやめて、貸しビルを経営し悠々自適の身になったのが10年前。少しずつ走り始めて今では毎朝8キロほど走っている。小柄だが頑強な骨格は先天的なものであろうか。海外旅行の団体に一人で参加され、旅先で朝走るのがとても楽しいとおっ

有利さて選ぶなら

# 中期国債ファンド

1カ月複利の効果で  
いつでも一番有利



かい せい  
**借成証券**

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2  
☎ (666) 1431 (大代表)

取締役企画部長 近内靖夫 (第69期)



しゃる。

Yさんは62歳。学生時代、短距離の選手とかで均整のとれた体型と見事なフォームで不忍池畔とお山を10キロ以上走る。

まだ名前を存せぬ小柄な主婦は不忍池畔を5周する。手の振りが小さく、重心が低い安定したフォームでゆっくりと走る。年期の入った走法である。M氏は森の中の安全地帯でゴルフのピッチングウェッジのアプローチ。腕はハンディ10、一緒にラウンドしたこともあるが、絶妙の寄せを披露してくれた。

噴水のある広場ではバドミントンのグループが3組ほどできる。ネットをそれぞれに張り、ダブルスで真剣にラケットを振っている。比較的年齢の若い主婦が主で、スマッシュの時の歓声が楽しい。

民謡グループもあちらこちらにみえる。ボードワン博士像のある森の近くには、尺八の吹奏で3、4人の謡い手が謡っている。東北方面からの出身者が多い上野らしく、「南部牛追い唄」「江差追分」「八戸小唄」など土や海のおいがする。何年前か前売り出した西村直子という元民謡歌手もここで発声訓練をしていた。

動物園の入口でも、十数人かの若者が手持ちの簡易いすに座り、三味線、尺八、笛をそろえのんびり演奏。極楽境を感じさせる。科学博物館の玄関下のスペースは雨天に強い屋根つきのスペースで、コーラス独特の澄んだ高音が森を揺るがす。

<ニイハオで始まる太極拳>

NHKでも指導した楊名時先生直伝

という、K女史とT女史をリーダーとする太極拳同好会がこの6月に誕生した。噴水池に出島のように設計された100㎡程度のスペースで毎朝10数人がけいこをしている。太極拳は中国古来の武術で芸術と哲学を含んだ心身の健康法であると、私も2度の中国旅行で教えられ感動を受けていたので、私もその仲間に加わり、習い始めた。ニイハオと挨拶、立禅、準備体操と心身の準備のあと、楊式太極拳24式を二回繰り返し、立禅、謝々(シェシェ)、再見(ツアイチェン)で終わる。

<自然発生的な朝食会も>

森の朝の生態は人間百態といっても過言ではない。病後なのか杖を片手にゆっくりと歩く人、愛犬に引かれての散歩。ベンチに腰をおろし、気心の知れた仲間と大声で談笑する老人達。元軍人であろうか、木刀片手に号令をかける人、詩吟を詠ずる人、笛を吹く人、四股を踏み木に向かって鉄砲をする人、鉄棒、鉄輪にぶら下がる人など。

不忍会という自然発生的な集まりがある。日曜日の朝食会で不忍口近くの食堂で行っている。男性千円、女性五百円で和洋食の二種類があり、男性にはビールが一本がつく。政治臭、職業臭なし、派閥なし、威張る人もいないので人気があり、常時2、30人は参加する、私も時々参加するが、皆それぞれ自分の世界をもち、誠実で善意に満ちた言動には教えられることが多い。百々(もも)の会という小さな集まりもある。百三歳まで長生きされた慈眼大師にあやかった命名だが、梅の開花時、科学博物館西側大師様の御堂の庭で観梅会を開く風流な会である。

私が早朝、上野の森を歩き回り始めたのは自然への憧憬からである。もともと福島県育ちの私は、智恵子抄に出てくる安達太良の山は母のようだったし、阿武隈川の清冽さは体験として体にしみついていて。台東4丁目にあるビルを「終(つい)の栖(すみか)」と思うと釈然とせず、十数年前まで、邸内に大きな木と竹やぶがあり、ガマが生息し、遠くに山を望み、小川が流れる広い庭つきの家に住みたいと夢みていた。そしていろいろと土地を探し求めてたが結果は無残。地価の高騰で夢をかなえてくれるような物件は、通勤に2、3時間もかけねばならない。

<四季の変化と人との交流>

兄事する弁護士に相談した。「50代は、自分の生活をいかに簡素にするかの年齢であり、あなたの場合都心に職住一緒のビルがあるから無駄のなく理想的ですよ。」との明晰な助言で、積年の胸のしこりも雲散霧消した。それからは、生活の中に自然をどうしたら組み込むことができるか考え始めた。一つは近くにある上野公園をわが庭と定め、毎朝散策すべし、二つ、ビルの屋上に超ミニ公園を造り朝夕いつくしむこと。こう決心したのが10年前である。以来、5時に起き、6時には上野の山で寛永寺の鐘を聴き、運動したあと、途中で「釜風呂」という銭湯に寄って汗を流し、豆乳を飲んで自宅に戻るといふ日課であるが、上野の山は春は満山の桜、夏の蓮の花、そして秋の渡り鳥、初冬の落葉と四季の情報があり、森を愛する人々との温かい交流がある。これこそ人生の至福といつてよいであろう。(歯科医)

61年10月8日付、日本経済新聞から

ど~んと有利で出し入れ自由

# 中期国債ファンド

- 1ヵ月複利
- 手数料なし
- 出し入れ自由
- 違格

第一証券

本店・東京 日本橋 三越前  
☎(03)244-2611  
全国主要都市39店舗  
海外/ロンドン・ニューヨーク・香港

設定運用は第一投信  
お申込みの際は受益証券説明書をご覧ください。

## 画家への路

39期 杉 三郎

60数年前となるか、朝風通う桑野路にと歌って通った15才頃を思い出しますが、その桑野路の思い出を同じくする東京桑野会の皆様に79才の私の自己紹介をさせていただきます。

私が5年生となり、一谷校長と東白川の父から、上野の美術学校に行つてはと薦められたが、美術は天才のするものと、私は凡才なれば、普通のサラリーマンになると、立大の経済に入学しました。

中学4、5年の頃、賀川豊彦先生に心を傾けていたので、立教に入学して間もなく洗礼をうけております。

この頃は、有名な画家になれなくても生涯画筆をもって研究できれば良いと考えておりました。

立大卒業せんとする1月に、私は十二指腸潰瘍で倒れ、聖ルカ病院に入院し、九死に一生の状態、5月まで入院しておりました。この時、24日間一滴の水も摂取出来ない生活がはじまりました。朝に夕べに水だけを考えて過ごしました。寝静まった病院の遠くで看護婦さんが熱のある患者の為に水道の栓をひねる。水音は長い廊下を流れて私の脳漿を洗うが如く流れこんできました。その音の柔らかさは何に例えることが出来ません。

私は「人生と水」について考えねばなりません。人生観に大きな革命が起き、結果現在の画家の路に進むことになった。

5月の卒業は、雑誌社への就職も断念せざるを得ませんでしたし、学長からの誘いもあり、結局立教学園で絵の教師をする結果になりました。

この辺の話は、私の「杉三郎画集」(昭和54年・木耳社発行)の絵と私に詳しくあります。

立教に勤めた時の夏休みから続いて3年私の作品が二科展に入選し、画業を生涯の仕事と、その時に決めたのです。

画人の作る絵は、人々に見せると言う宿命を持っているのですが、人間は、誰でもお嫁さんを持ちますように、絵もお嫁さんを決めるように、好きとか否を決めねばならぬものなのでしょう。人の人生とは面倒この上ありません。

38才で他界した芸術家ゴッホは、私の知る限りこれ以上哀れな生涯を知らない。牧師を父とし、オランダに生まれ育ち、最後は、地中海に近い田圃の畦道を歩き、こめかみにピストルをあて引金を引く。それまで、彼の絵は彼の弟テオドル以外理解されず、一度も展覧会に入選せず、二度の結婚申し込みも断られている。この感銘深いゴッホの生涯は、私の人生において、いつも忘れ難いものとしてあります。

ルノアール 庭にて



(一水会会員洋画家)

## 私の青春はカーキ色

44期 高橋 勇夫

日本がカーキ色一色だった昭和12年のむし暑い夏の夜でした。私にも召集令が来ました。若松歩兵第29連隊に入隊、14年3月に故国を離れて中支は江西省安義地区警備につきました。

安中健児の質実剛健、開拓精神で、部隊でも上司の信任を得たのか、半年で軍曹に昇進しました。その年の暮れ中支全戦に亘り蒋介石の冬季攻勢が展開され、正月準備の我部隊は餅つきどころではなくなりました。給与(炊事)軍曹だった私は、敵弾の飛来する原野を車で突っ切り、前線の部隊へおにぎりを届けました。帰路は戦傷兵、遺体を乗せて後方へ運ぶ日が続きました。翌15年3月には敵の狙撃するチェッコ機重の一弾が、私の軍刀の柄に命中し、からくも命を助かるということもありました。写真はその時の記念に撮影したものです。25歳の私とその軍刀です。

その後、肋膜炎となって内地へ還り、回復後は日本鋼管に復職しました。17年の4月でした。敵の空襲も激しくなり、私は社長命令で自衛防空隊高射機関銃隊教官並中隊長を任命されました。従業員から昼夜二交代制で夫々百名の隊員を召集、軍から九二式機関銃12挺と実弾を受領し訓練、教育に当たりました。

そのころは経済統制下であり、衣食すべて困苦欠乏の時代でした。トラックの荷台に機関銃を対空射撃姿勢に組

# 引越は変フォーメーション。

☎0423 (65) 8100



府中運送株式会社

府中市白米台1-23-7

☎(0423)65-1476(代)

FAX(0423)61-7600

遠藤征志郎 (72期)

み、あたかも射撃訓練を装いながら、農家からネギ、大根、ホーレン草といった野菜を積み込んで籠をかけて運び込む次第。隊員もこんな実弾射撃訓練を大歓迎で、私は「ユウさん」と呼ばれ日本鋼管の名物男でした。

明けて19年6月、再度の召集令が来ました。師団司令部要員で、仙台の連隊の前で妻と別れた悲哀が今も思い出されます。10月に曹長一等級、営外居住下士官となり月給80円をもらうようになりました。仙台の広瀬川の司令部近くに下宿し隊に通いましたが、その年の暮れ、突如弘前師団司令部への転勤を命じられ、リンゴ畑の多い富岡町の老夫婦方に下宿するようになりました。

戦局が悪化し、米軍は津軽か三陸沖に上陸するとの想定で急拠、新師団を三陸沖に布陣する事になり、護弘師団が誕生しました。私は司令部付先任下士官として青森県三本木町に移り、師団長閣下、参謀、高級将校の下で下士



官団の団長を務めました、安中精神で気遅れもなく実務に邁進しました。

20年8月15日、終戦の詔勅は司令部があった地元中学校の講堂で聞きました。私たち召集下士官は即刻召集解除。各人僅かの米と毛布、水筒を交付され夫々故郷へ帰って行きました。

私は秋田に住む実姉の家に寄り、8月末には川崎に帰って日本鋼管へ復帰しました。10年に及ぶカーキ色の青春は終わったのでした。

## 安積離れて35年

第65期 佐藤一男

先日、東京桑野会の編集部から、会報の送付を頂き、あわせて会報への寄稿を依頼された。

特に最近、母校や同窓生と御無沙汰続きになってしまっていたが、会報を拝見すると、かつての中学高校時代のことが、今更のように思い出される。私は、第65期で、昭和27年3月卒業であるから、今年卒業満35年目ということになる。35年という年月の長さに今更のように驚き、月日のたつこの速さに改めて感じ入っている。

私たちの安積時代は、正に変革の嵐が吹きすさんだ時代であった。入学したのが敗戦翌年の昭和21年、旧制中学の最後で、翌年からは旧制中学併設の新制中学、次いで新制高校併設の新制中学、ようやく4年目にして安積高校の生徒になったが、この4年間、最下級生という、珍しい記録を有している。合計6年間の安積生活は、そこで知り合った友人たちとの交友を含めて、私

のかけがえない青春の思い出である。

その安積を離れて既に35年、気持ちだけは当時の青春時代と変わらぬつもりでも、いまましいことには白髪も増え、目もだいたい怪しくなっていました。大学を出てすぐに日本原子力研究所にはいり以来茨城県は東海村で仕事をしているが、特に最近十数年は、安全性を専門にしていることもあって、何かと慌ただしくかけずり回っている。原子力安全という仕事は、極めて国際的色彩が強く、早い話が、日本だけ優秀な成績を収めても、外国で事故でも起こすと、直ちにその影響が我国にも及ぶという宿命を負っている。8年前のアメリカのスリーマイルアイランド(TMI)の事故、昨年のソ連のチェルノブイリの事故など、いずれも遠い外国で、しかも我国にない型式の炉が事故を起こしたのだが、それでも、我国の原子力に深刻な影響を及ぼしているのである。

おかげで、昨年は、国の内外での各種の会合等に追い回されて席の暖まる暇もなく、旅券の査証欄の余白が無くなって増補申請と言うのをせざるを得なかった。この中でも印象に残るのは、8月にウイーンで開かれた国際会議で、ソ連が初めて事故の概要を報告した会議である。この時は、会議出席はもちろん、各国との意見交換、本国への報告などで連日深夜までの作業を余儀なくされたが、自分たちの安全という仕事の重要性も改めて実感させられたものである。これからも、及ばずながら勉強して、安積の先輩同僚に後れをとらないよう努力する所存である。

(日本原子力研究所)

- ◎健保取扱
- ◎電話予約制
- ◎休診日：木、日、祝日

### 伊豆歯科医院 74期

港区新橋6丁目2-8  
電話 (434)0231

## 「ジョギング」考

80期 上石 利男

朝7時—トレーニング・ウェアに短足の身を包み、颯爽と(?)白い息を吐きながら、今日も3キロをこなす。

「おまえは何故走るのか」…ただ走ると決めたから。夏場は気も楽である。これが厳冬ともなると、チョイと努力を必要とする。しかし冬場にこそ、ジョギングの醍醐味がある。心地良い充実感に浸り得る。

走る、これ即ち人生の謂である。人は、生まれてから死ぬまで走ることを宿命づけられている。ならば能うかぎり深く走らねばならぬ。深く生きねばならぬ。

私の故郷・郡山は、本当に素晴らしかった。さればこそ心置きなく故郷をあとにすることができた。

殊に多感な青春の真只中を生きた母校・安積高校—この音の響きは一種の陶醉に誘う。その3年間は、私の人生を決定づけたドラマである。

「吾が人生の原点はここにあり」誰憚ることなく断言しよう。

寒風を突き、雪道をかきわけて、自転車から対峙した厳愛の秀麗安達太郎—人生を真撃に生きよと教えてくれた。厳しき恩師、温かな恩師。いずれも殊の外・珠玉のようである。

その後郷関を出て、東大紛争を口実に貴重な人生の原点を忘れて、私は走ることを停止してしまった。そのプランクは10年になんなんとした。生来の怠惰の然らしむところ、というべき

か、実に慙愧に堪えない。しかし、「毒を変じて薬となす」。走ることを放棄するのでないかぎり、遅れは取り戻し得る。要はいかに深く生きるか、そのための試行錯誤があつてこそ、いろいろな景色も楽しめる。

私は、いま深刻な危機感を抱いている。この危機感こそ私をして再び走らしめるに至った要因である。そして今昭和史、ひいては近現代史を繙いて過去に学ぶことが緊要の課題である。

経済優先主義の破綻・軋轍を増す国際関係、軍拡政策の台頭、民主主義の空洞化、青年世代の政治的無関心、至るところ笑顔のファシズムが付け入る隙を狙っている。

今こそ原点に立ち返ろうと思う。「おまえは何故走るのか」。

いかに深く生きるか—時代が我に一人一人を験している。

人生80年時代—しかし長さの価値を追い求めるのではなしに、深さの価値こそ肝要であると思う。

維新の志士たちが師・松陰から薫陶を受けたのは僅か1~2年である。

いま社会の第一線で華々しく活躍するビジネスマンも、やがて孤老を託つのみでは困る。そこに沈殿された何かがその人の価値を決定するであろう。

かくては一日もゆるがせにはできぬ。一瞬一瞬を体力・気力共に最高度に輝かしめねばならぬ。

今朝もラジオの聲が高らかに響く。「全国の皆さん、おはようございます。ラジオ体操の時間です」。

—さあ眼を覚まして走るのだ。  
(弁護士)

## 裁判所の小部屋で

81期 丹治 則男

廊下の両側に15の小さな部屋が並んでいます。そこが今の私の拠点というわけで、法廷をのぞきに行ったり、外で関係者と会ったり……。霞が関の東京高・地裁の2階にある「司法記者クラブ」ですが、安積の旧本館にあった部室の方がはるかに広くきちんとしていました。部室より嬉しいのは公然と酒が本棚の上にあることくらいでしょうか。

裁判といえば、昭和24年生まれの子が42年以上昔の戦争を改めて知らされる公判がありました。50歳になった男の被告人は、外国人の家ばかりを狙って泥棒に入っていました。父親は戦死したと聞いて、納得したのですが、実はそれだけではありませんでした。裁判官宛てに出された上申書には、小学生だった被告人の戦争体験が綴られていました。疎開先へ、煎った大豆を詰めて大きな枕を送ってくれた母。教師はそれを皆の前で布を引き捨てたと書かれていました。ひもじい思いをしているだろうと、自分の分も食べずに……と思うとたまらない気持ちになった事でしょう。その母は戦後間もなく再婚し、あまりに父親似の被告人はそれ故に、母からさえうとんじられるようになったといいます。直接はぶつけられないいらいだが、犯行の動機だったのでしょか。暴力に訴えることはせず、留守を狙った盗みであるということに、そんな思いがしてきます。

◆◆大人のエレガンス・ファッション◆◆



株式会社 モード・エ・カセイ

代表取締役 古川 清志  
(82期)

本社：東京都渋谷区南平台町12番6号 南平台ベルウツ302号 〒150  
TEL.03-464-6947・463-3049

『戦後20年、果たして今の日本は』などと、口角泡を飛ばして議論をしていた頃を思い出しました。会報で先輩の方々の体験を読ませていただいたときも、そうなのですが、高校時代の“論争”がなつかしいと同時に、戦争についての、いろいろな側面の存在を感じさせられました。

『疑惑』と呼ばれる事件も起訴されると裁判担当の仕事になります。『ロス』も『マニラ』も、毎回傍聴しています。特に『ロス疑惑』については、私が事件担当の警視庁詰めだった頃の“発覚”だけに関心を持って見ています。マスコミの人権無視を指摘する意見も聞きます。行き過ぎは認め、反省すべき点は改める必要があると、私も考えます。しかし、もっと重大なことではないかと、法律には所詮素人の私ですが、感じられる事があります。刑事事件の判決に『必要条件』でこと足れりとするのは間違いではないかと思うのです。たとえば、三浦和義被告人のケースです。犯人なら犯行現場にいた。しかし、犯行現場にいたからといって犯人であるとは言えない。にもかかわらず、必要条件をたくさん集めて『動かぬ証拠』としようとしてはいないでしょうか。判決前にとにかくいうのは控えなければなりません。しかし、『十分条件』で判断するのが、あくまでスジではないのでしょうか。

こんな事を思いながら、裁判所詰りを続けています。

(サンケイ新聞 社会部)

## プランクトンを 利用する

85期 村上 昌弘

安積時代、海にまるで縁がなかったにもかかわらず、何故か水産学科に進学し、なおかつ水産化学なる領域に頭を突っ込んでから10年がたちます。この間、水産畑でご活躍なさっている同窓生の方にお会いする機会も多く、安積健児の活躍の場の広さをつくづく実感しております。

さて、私、東大農学部水産化学研究室の助手をしています。「プランクトンの利用」というテーマに取り組んでおります。プランクトンは水界の食物連鎖の一番低次元に位置し、その資源量は莫大であると考えられ、世界中で有効な利用法が模索されています。70°Cの温泉のなかにも生息しますし、南極の水の下にもice algaという藻類がいます。赤潮を形成して養殖魚の大量へい死をひきおこしたり、水道水の悪臭の原因生物であったり、社会に害を及ぼす様な種もありません。しかしながら、非常に興味ある生物で、金や銀はたまたウランまでも濃縮する種類があるそうです(眉唾もんですが、実際研究はおこなわれている。)現在、企業化されている種類もあり、未来の宇宙食として話題になったクロレラ(Chlorella)もその一つで、健康食品としてなかなか人気が高いようです。アフリカのチャド湖に繁茂し、原住民の重要な食料源となってるスピルリナ(Spirulina)も健康食品として売り出し中です。確かに分析してみる

と高蛋白・高栄養ですが、いかんせん食味に欠ける。世が現在のように豊かな時代でなければ相当脚光を浴びると思います。最近、世界的に注目を集めているプランクトンに緑藻ドナリエラDunariellaと緑藻ボツリオコッカスBotryococcusがあります。イスラエルで盛んに研究されているDunariellaは飽和に近い塩分濃度のところから淡水まで生息できる特殊な生理機能を持つとともに、ガンの原因の一つと考えられる活性酸素のクエンチャーであるベータカロテンを多量に含むことから注目を浴びています。塩水湖に生息し、企業化も近いようです。Botryococcusは石油の根源生物ではないかと疑われているプランクトンで、乾燥重量あたり約70%脂質を含みます。実際、その脂質組成を調べてみると原油の成分に似た物質が存在します。大量培養もできるようになってきておりますので、このプランクトンの油で車が走る日も近いかもしれません。日本では、本栖湖に生息します。その他、強い抗ガン作用、抗菌作用を示す種類もあり医薬品のソースとしてもプランクトンは注目されています。

まだ、プランクトンの利用に関しては、上記のような例を除き、ほとんど手はつけられておりません。水界に、何千種類と存在するプランクトン、この生き物に少しでも興味を持って頂ければ幸いです。

(東京大学農学部助手)

\*\*\*\*\*  
住まいのコンサルタント

**BEST5**

株式会社

ベストファイブ

〒156 東京都世田谷区経堂1-25-17 小銭ビルII

PHONE 03-425-8035

住宅・店舗の設計施工  
ビル内外装工事、営繕工事

代表取締役

川口 勝広

(83期)

## ひねり出した文章

86期 坂本 浩一

私は文章を書くことが好きではありません。なんとか文をひねり出そうと、ウンウン唸っていたら、10何年前、安高卒業間近の現代国語の授業を思い出しました。教科書を使う正規の内容が終わり、作文の時間が何度か続いたのです。苦痛でした。私は授業中に眠るのが得意だったのですが、あの時は眠気も忘れ、今と同じように懸命に文をひねり出そうとしていました。

なんとかその苦しい授業を切り抜け卒業し、東京へ出てきたわけです。そして今度は、話すことで苦労が始まったのです。「～だばい」を「～でしょう」に「～やっぺ」を「～やろう」に代えて話し始めた時は、冷汗ものでした。文章なら書かずに済みますが（今回は全くの例外です）、話さずには生活が出来ませんので、軽やかに標準語を話そうとするのでした。時を経て、初期の照れはなくなりましたが、長年鍛えた郡山の訛りが消せるはずもなく、今や、正しい標準語も話せず、さりとして正調郡山弁でもないといった中途半端な身となってしまったのです。

いつしか東京弁に毒された郡山弁を使うことに慣れてはきましたが、今だに不思議に思うのは発音と言うかアクセントのことです。郡山近辺は、アクセントのはっきりしない話し方をする所と思いますが、私などはその最たるもので、全くわからない。

例えば「箸」と「橋」、「柿」と「牡

蠣」です。これらのアクセントの違いを教えられてもすぐに忘れてしまうし、どうも私にはその能力がないらしいのです。必要な脳の回路が切れてしまっているのでしょうか。どうか回路をつないで発音で言葉を区別し話す経験をしてみたいと思うのですが。とは言え、多少スマートさを欠き、ずれた日本語だとしても、そんな素朴さが安高出身者の良いところなどと勝手にきめております。

さて、どうか文の長さも足りてきたようです。私は86期の幹事をやっているわけですが、その関係上このような拙い文をひねり出すはめになってしまい、幹事などやらなきゃよかったと後悔したのです。でもここまでの今、ホットしたら現金なもので、安積出身ということで結ばれた多くの方々とき折お会いし楽しい時間の過ごせる機会をもてることを嬉しく思います。東京桑野会にとって少しでも役立つよう努めたいと決意する次第です。

(東京都立大学理学部助手)

## 55期, 日々好会の歌

55期 結城 洸

東京地区における55期生の集いについては、会報2号に『わが日々好会』として載せて頂きましたが、今日まで相変らずの会合を続けております。そんな或る日、期会の歌作りの話が持ち上ったのは、期友青山八郎君が59年10月の例会にひょっこり出席したことに始まる。同君は安積1年の2学期に郡山を去られたこともあって、それ

まで消息が不明であった。偶々郡山で、月例会が東京でもあることを聞き、初参加となった次第で、同君は現在作曲家として幅広く活躍中である。

一方、月例会の常連には、土井晩翠を記念して優れた詩作に贈られる『晩翠賞』を60年に受賞された菊地貞三君がおり、席上誰とはなしに、作詩家と作曲家の両人が揃ったのだから日々好会の歌を作ろうではないかということになり、両君に一任、お願いしたわけである。両君のお骨折りにより下記にご披露する『日々好会の歌』が完成し、60年11月、地元での55期会総会において、期会の呼称が日々好会と正式に決定された。

今後われわれの愛唱歌あるいは人生の応援歌として、集りのつど歌うこととされた。詩も曲も歌い易く、戦前、戦中、校庭の桜の下で応援歌を歌われた年代の方々には共感を持って頂けるものと思います。

『日々好会の歌』

菊地貞三 作詩 青山八郎 作曲

1. 桜ふぶきの その下に  
肩組み合いし 若き日よ  
いもの耳打つ 歌声に  
君忘れめや 警梯おろし  
マルシェ マルシェ  
われらの日々好会
2. 五十鈴湖畔も 桑野路も  
時は流れて 遙かなり  
戦中戦後 生き抜いて  
永遠に変わぬ 熱き血よ  
マルシェ マルシェ  
われらの日々好会
3. 花よ嵐よ それぞれに  
人生航路は 異なれど  
熱き思いは ただひとつ  
心にかざす 紫の旗  
マルシェ マルシェ  
われらの日々好会

(秋津冷蔵代表取締役社長)

# 秋津冷蔵株式会社

代表取締役社長 結城 洸 (55期)

本社：〒552 大阪市港区港晴5-2-60 電話 06-571-7265(代表)

東京事務所：〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2 千代田ビル530号室  
電話 03-216-2738

## 「わが会報編集部」

78期 櫻井 淳

東京桑野会会報づくりに参加してから5年目、素晴らしい安積の先輩や後輩に接する機会も多く、今更に安積の層の厚さに感嘆しております。

私にとって会報編集は、楽しくまた大変な年度末の年中行事になりつつあります。ここで、我が会報編集部の面々を簡単に紹介したいと思います。

まず、最長老の長谷川さん(49期)、会報の育ての親で、強引さと優しさが同居した、私にとって親父のような存在で、最近では広告取りの鬼と化しています。

次は、編集部の理論的リーダー水口さん(67期)は 帝人殖産の部長の激務にかかわらず、タイムリーな原稿を集められます。

湘北短大食品経済学の講師の大竹さん(79期)は、皆が酒を飲みながら編集をしている時に、一人ジュースを飲んで頑張り、酔わない目を持つ貴重な存在です。

編集部で唯一のプロ、丹治さん(81期)はサンケイ新聞社会部の記者で、編集部の若きホープです。段取りと取材の早さには、舌を巻いています。

プランクトンの研究者村上さん(85期)は、前村上校長の息子さんで、東大農学部の手助の多忙中に駆けつけて来ます。

一番若い坂本さん(86期)は、都立大の物理学の手助で、最近結婚も間近に控えているせいか、楽しそうに頑

張っています。

また、時々企画部から援軍として、弁護士の齊藤さん(69期)が来ます。以上の7人に私を加え、多くは私の事務所で酒とつまみを持ち込みながら、ワイワイとやり、時には、連絡を兼ねて、椿山荘で、幹事長の竹花支配人が我々に安い会費でグルメ会議の場所を提供してくれます。さらに、澤田会長の短資協会で、高価な酒に舌を潤しながら会長と直接会えることも楽しみの一つです。

長谷川さんから坂本さんまで、37年の世代差を越えて、またこれだけ様々な分野(大学の先生が多いくらいはあるが)の人が集まって、編集することができることは、「安積」ならではのことでないでしょうか。

私は、建築と都市計画の仕事をしておりますが、多くの人との協同作業の中で個性的な仕事をまとめることが、私の重要なテーマです。会報編集は、正に一つの建築物や都市を造る仕事と似ており、色々なことを学習することが出来ます。今後会報が、単に懐かしさだけでなく、美しい建築や都市を見て感激するように、素晴らしい会報をつくりたいと思っております。

(櫻井淳計画工房代表)

## 事務局だより

■「世界に広がる安積の輪ですね」

南太平洋のヴァヌアツから帰った星事務局長からの弾んだ声の報告。

当地で南太平洋水産取締役総支配人と会う。ところが、この方が安積の一年先輩(57期)の石川英世さんとなわかってビックリ。話が盛り上がったそ

うです。

■「今年の総会は、先輩、後輩

を誘いあって広げよう安積の輪」

■東京桑野会の会員名簿はお持ちでしょうか。創立百周年に当たり編集されたものですが、事務局では、改定版の準備を進めることにしました。親睦の輪が一層広がるようなものを、と考えております。

つきましては、同封の総会出欠ハガキには、氏名 住所 電話番号 卒業年 期 勤務先とその電話番号を明記して下さい。また住所等の変更がありましたら、事務局までご連絡下さい。

■当事務局の移転のお知らせ

移 転 先

〒101千代田区神田錦町2-5KSビル3階 公認会計士 星 武典事務所内  
東京桑野会事務局 Tel 03-291-8361

事務局長 星 武典(58期)

## 編集後記

会員の皆様からの多方面にわたる原稿を頂き感謝します。国際化の時代といわれるに相応しい65期の佐藤氏の原子力安全性についての国際的な活躍、ギリシャのクセナキスを母校に案内した74期の船山氏の記事など。

ちなみにその母校、旧本館が出来上がった年(明治22年1889年)というのは、世界を見渡して見ますとパリ博覧会のためにエッフェル塔が建てられ、近代建築史の新しいページを開いた丁度同じ年に当たります。序でに細かい事をいえば、当方が桑野村に正式に移転した日と、エッフェル塔が正式に完成した日も同じ3月30日です。

(水口)



## ★安積健児像★

日展評議員

佐藤 静司 氏(45期卒)制作

### \*企画部からのお知らせ

母校創立百周年記念事業として制作されたブロンズ像のレリーフです。「明治」「大正」「昭和」三代の安積健児を表現しています。ご希望の方に実費でお届けいたします。(14.4寸×17.5寸) 頒 価 30,000円(送料込み)

問合せ先 〒160東京都新宿区新宿1-3-8

YKB新宿御苑804 齊藤法律事務所  
電話 03(356)6677 齊藤英彦 69期